

月刊

GPP



Vol.79

令和4年7月号

株式会社
グロースパートナーズ

セルドロン事業、前進中

最速の梅雨明け宣言の後、雨が続けている。いまだ鳴かないセミ達は良く知っているであろう。

このところ、実はセルドロン事業は前進している。現段階ではあまり具体的にお伝え出来ないのだが、それぞれ異なる3分野のプライム上場企業から関心を寄せて頂いている。その3分野がそれぞれ協調することで、セルドロン事業が飛躍的に伸びるのは間違いない。

正直、以前から狙っていた「来てくれれば良いな・・・」と。我々のような会社名がカタカナで、決算書を見ればゲッソリすること間違いなしの企業が、こちらからアプローチしても、誰も振り向いてくれない。これが現実だ。これがひとたび歯車が噛み合って動き出すと、ワッと集まってくるものだ。勿論、まだ動き出していないセルドロン事業だから、今回の3社は動き出す予感を感じて集まって来て頂いた。恐らく、半信半疑であろう。

そもそもビジネスは半信半疑の連続だ。確信なんて有って無いようなもの。まして、リスク無き所にリターンは無いのだから、リスク有ってナンボの世界だと思っている。セルドロン事業において、リスクを取って頂いた人が沢山いるけれども、自分も自身も相当取ったと自負している。面白いもので、どうやってこの事業を繋いでいるか、もはや誰も尋ねてくれなくなった。。

歯車が 噛み合出すと・・・、とその仮定の話は実際動き出してからにしよう。
まだまだ「欲しがりません、勝つまでは」である。

藤井 成厚

第20回記念 RRCS対談

詳細はこちら「生コン・残コンソリューション技術研究会」
<https://rrcs-association.or.jp/>

2022年7月25日 10:00 配信START
<https://www.youtube.com/watch?v=wYi95MLP9rs>

スマートフォンはこちら▶



第20回 RRCS対談・座談会 2022.07.25

2022年7月25日（月）10:00 配信START

RRCS対談・座談会 20回記念特別企画>

環境 x 建設 x 金融

「自治体によるESG金融の現在と未来」

RRCSリサイクル分科会による全国一斉粒状化試験について

全国の生コン工場、**約50工場**で生コンを粒状化させ、その骨材で試験練りを実施しております。

粒状化剤としては、セルドロンの他にも、Re-Conゼロ、コンバラスNプラスなど様々なもので試験を実施しています。

生コンの配合は、各工場でよく出荷する配合にして頂いております。その結果が半数の工場に出てきており、粒状化骨材の傾向がわかってきています。

このような試験結果がエビデンスになっていき、回収骨材や再生骨材のように粒状化骨材が正式名称になり、環境問題が騒がれている今、生コンも再生材で作られることが当たり前になると良いなと思います。まずは、現場でエビデンスのある粒状化骨材を有効活用することがスタートになると思います。

多くの現場でまずは粒状化を実施していただけると助かります。ご興味のある方はご連絡お願いいたします。

粒状化骨材



👉 セルドロンの用途について

施工会社では、残コンの処理に使う現場がすこしづつ増え、リピート案件も多いです。また、ネットショップからは様々な業種の方が購入されております。農家、水処理企業、仮設トイレ関係、左官業、個人の方など、余剰の水分に困っており、セルドロんで流動性を低下させているようです。まだまだいたるところに流動性の高い、処理しにくいものがあると思います。セルドロンは、物理的に吸水するので安心して活用できます。

ぜひお問い合わせください。

セルドロンに関する疑問質問は営業 土井まで



03-4405-2642